平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　宮崎県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
日向市	日向市立東郷病院	8
串間市	市民病院	9
えびの市	市立病院	10
高原町	国保高原病院	11
都農町	都農町国民健康保険病院	12
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	13
美郷町	西郷病院	14
高千穂町	国保病院	15
日之影町	国保病院	16
五ケ瀬町	国保病院	17

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	
病院名	宮崎病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	46,153 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災
診療科数	22	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	589	62.3	64.2	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	42	70.9	72.5	73.8
感染症	7	-	-	-
計	638	62.1	64.1	65.8
平均在院日数（一般病床のみ）		11.7	12.3	12.3

設立団体の状況

人口 (人)		1,104,069
決算規模 (千円)		559,444,108
標準財政規模 (千円)		326,457,492
財政力指数		0.34331
経常収支比率 (%)		92.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.9
	将来負担比率 (%)	113.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	89.1
修正医業収支金額 (千円)	12,029,995

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,022,415			
1 経常収益	14,022,415			
(1) 医業収益	12,288,459			
① 入院収益	8,911,027			
② 外来収益	2,990,237			
診療収入計	11,901,264			
③ その他医業収益	387,195			
(うち他会計負担金)	258,464			
(2) 医業外収益	1,733,956			
(うち国・都道府県補助金)	18,409			
(うち他会計補助・負担金)	1,080,408			
(うち長期前受金戻入)	573,130			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,091,500			
2 経常費用	14,021,017			
(1) 医業費用	13,495,849			
① 職員給与費	6,405,049	52.1	55.9	50.2
② 材料費	3,612,113	29.4	24.0	27.7
(うち薬品費)	1,889,054	15.4	12.4	14.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,626,491	13.2	11.1	12.9
③ 減価償却費	985,105	8.0	9.2	8.3
④ 経費	2,408,844	19.6	23.2	20.7
(うち委託料)	1,149,668	9.4	11.2	11.4
⑤ 研究研修費	68,369			
⑥ 資産減耗費	16,369			
(2) 医業外費用	525,168			
(うち支払利息)	38,751	0.3	1.7	1.5
(3) 特別損失	70,483			
損益 経常損益	1,398			
損益 純損益	-69,085			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.0	99.7
医業収支比率	91.1		88.4	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.4	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.5	10.7
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	9.4
実質収益対経常費用比率	90.5		85.9	90.3

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	45,734,200
1 固定資産	28,919,873
(1) 有形固定資産	27,627,117
(2) 無形固定資産	216,787
(3) 投資その他の資産	1,075,969
2 流動資産	16,812,965
(1) 現金及び預金	4,909,596
(2) 未収金及び未収収益	4,665,622
(3) 貸倒引当金 (△)	51,187
(4) 貯蔵品	257,740
3 繰延資産	1,362
負債合計	38,952,048
1 固定負債	22,402,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,959,794
(2) その他の企業債	7,050
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,410,274
(7) リース債務	25,062
2 流動負債	13,815,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,950,559
(2) その他の企業債	2,350
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	856,539
(6) リース債務	8,530
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,840,310
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,734,825
(1) 長期前受金	36,773,010
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	34,038,185
資本合計	6,782,152
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,961,244
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,071,720
負債・資本合計	45,734,200
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,338,872	1,338,872
資本勘定繰入	382,528	382,528
計	1,721,400	1,721,400

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	22.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	
病院名	延岡病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,421 ㎡	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
診療科数	23	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数

(%･日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	456	71.9	67.1	65.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	460	71.3	66.5	64.7
平均在院日数（一般病床のみ）		13.3	13.9	14.5

設立団体の状況

人口 (人)		1,104,069
決算規模 (千円)		559,444,108
標準財政規模 (千円)		326,457,492
財政力指数		0.34331
経常収支比率 (%)		92.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.9
	将来負担比率 (%)	113.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	90.6
修正医業収支金額 (千円)	9,381,790

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,312,604			
1 経常収益	10,959,020			
(1) 医業収益	9,632,450			
① 入院収益	7,214,046			
② 外来収益	2,055,301			
診療収入計	9,269,347			
③ その他医業収益	363,103			
(うち他会計負担金)	250,660			
(2) 医業外収益	1,326,570			
(うち国・都道府県補助金)	1,562			
(うち他会計補助・負担金)	741,565			
(うち長期前受金戻入)	557,823			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	353,584			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,049,311			
2 経常費用	11,049,311			
(1) 医業費用	10,354,885			
① 職員給与費	4,609,523	47.9	55.9	55.2
② 材料費	3,033,377	31.5	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,525,011	15.8	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,433,298	14.9	11.1	12.3
③ 減価償却費	855,474	8.9	9.2	8.5
④ 経費	1,803,644	18.7	23.2	19.0
(うち委託料)	877,095	9.1	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	43,336			
⑥ 資産減耗費	9,531			
(2) 医業外費用	694,426			
(うち支払利息)	284,094	2.9	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-90,291			
損益 純損益	263,293			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.2		98.0	98.4
医業収支比率	93.0		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	90.2		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	45,734,200
1 固定資産	28,919,873
(1) 有形固定資産	27,627,117
(2) 無形固定資産	216,787
(3) 投資その他の資産	1,075,969
2 流動資産	16,812,965
(1) 現金及び預金	4,909,596
(2) 未収金及び未収収益	4,665,622
(3) 貸倒引当金 (△)	51,187
(4) 貯蔵品	257,740
3 繰延資産	1,362
負債合計	38,952,048
1 固定負債	22,402,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,959,794
(2) その他の企業債	7,050
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,410,274
(7) リース債務	25,062
2 流動負債	13,815,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,950,559
(2) その他の企業債	2,350
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	856,539
(6) リース債務	8,530
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,840,310
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,734,825
(1) 長期前受金	36,773,010
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	34,038,185
資本合計	6,782,152
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,961,244
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,071,720
負債・資本合計	45,734,200
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況

(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	992,225	992,225
資本勘定繰入	796,623	796,623
計	1,788,848	1,788,848

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	22.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	
病院名	日南病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透 未 訓 ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,738 ㎡	指定病院の状況	救 臨 感 災
診療科数	20	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	330	65.7	66.4	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	334	65.0	65.6	65.3
平均在院日数（一般病床のみ）		15.3	15.8	15.7

設立団体の状況

人口 (人)		1,104,069
決算規模 (千円)		559,444,108
標準財政規模 (千円)		326,457,492
財政力指数		0.34331
経常収支比率 (%)		92.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.9
	将来負担比率 (%)	113.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	83.3
修正医業収支金額 (千円)	5,090,602

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	544,667	544,667
資本勘定繰入	603,942	603,942
計	1,148,609	1,148,609

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	22.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,349,222			
1 経常収益	6,066,870			
(1) 医業収益	5,146,181			
① 入院収益	3,883,705			
② 外来収益	1,114,700			
診療収入計	4,998,405			
③ その他医業収益	147,776			
(うち他会計負担金)	55,579			
(2) 医業外収益	920,689			
(うち国・都道府県補助金)	5,210			
(うち他会計補助・負担金)	489,088			
(うち長期前受金戻入)	393,805			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	282,352			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,514,319			
2 経常費用	6,508,946			
(1) 医業費用	6,110,756			
① 職員給与費	2,986,725	58.0	55.9	56.9
② 材料費	1,268,315	24.6	24.0	24.2
(うち薬品費)	509,174	9.9	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	704,306	13.7	11.1	11.7
③ 減価償却費	619,627	12.0	9.2	9.5
④ 経費	1,193,845	23.2	23.2	21.8
(うち委託料)	591,413	11.5	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	22,683			
⑥ 資産減耗費	19,561			
(2) 医業外費用	398,190			
(うち支払利息)	181,317	3.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	5,373			
損益 経常損益	-442,076			
損益 純損益	-165,097			
累積欠損金	8,734,103			
経常収支比率	93.2		98.0	96.3
医業収支比率	84.2		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	84.8		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	45,734,200
1 固定資産	28,919,873
(1) 有形固定資産	27,627,117
(2) 無形固定資産	216,787
(3) 投資その他の資産	1,075,969
2 流動資産	16,812,965
(1) 現金及び預金	4,909,596
(2) 未収金及び未収収益	4,665,622
(3) 貸倒引当金 (△)	51,187
(4) 貯蔵品	257,740
3 繰延資産	1,362
負債合計	38,952,048
1 固定負債	22,402,180
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,959,794
(2) その他の企業債	7,050
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,410,274
(7) リース債務	25,062
2 流動負債	13,815,043
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,950,559
(2) その他の企業債	2,350
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	856,539
(6) リース債務	8,530
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,840,310
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,734,825
(1) 長期前受金	36,773,010
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	34,038,185
資本合計	6,782,152
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,961,244
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,071,720
負債・資本合計	45,734,200
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	宮崎市
病院名	宮崎市立田野病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,129 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	42	81.8	82.3	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	81.8	82.3	69.3
平均在院日数（一般病床のみ）		18.2	17.1	21.0

設立団体の状況

人口 (人)		401,138
決算規模 (千円)		161,927,595
標準財政規模 (千円)		90,966,540
財政力指数		0.67
経常収支比率 (%)		89.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.9
	将来負担比率 (%)	51.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	82.7
修正医業収支金額 (千円)	592,129

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	116,538	117,163
資本勘定繰入	13,688	27,888
計	130,226	145,051

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	188.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	888,581			
１ 経常収益	886,590			
（1）医業収益	631,817			
① 入院収益	400,476			
② 外来収益	174,375			
診療収入計	574,851			
③ その他医業収益	56,966			
（うち他会計負担金）	39,688			
（2）医業外収益	254,773			
（うち国・都道府県補助金）	10			
（うち他会計補助・負担金）	77,475			
（うち長期前受金戻入）	2,878			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	1,991			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,031,532			
２ 経常費用	1,027,623			
（1）医業費用	715,979			
① 職員給与費	-	-	55.9	79.3
② 材料費	-	-	24.0	16.1
（うち薬品費）	-	-	12.4	10.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.1	5.0
③ 減価償却費	65,319	10.3	9.2	13.7
④ 経費	650,660	103.0	23.2	42.9
（うち委託料）	160,165	25.3	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（2）医業外費用	311,644			
（うち支払利息）	15,898	2.5	1.7	1.5
（3）特別損失	3,909			
損益 経常損益	-141,033			
損益 純損益	-142,951			
累積欠損金	1,190,872			
経常収支比率	86.3		98.0	95.6
医業収支比率	88.2		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	18.5		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	74.9		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,756,745
１ 固定資産	1,550,665
（1）有形固定資産	1,550,665
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	206,080
（1）現金及び預金	91,333
（2）未収金及び未収収益	114,877
（3）貸倒引当金（△）	130
（4）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	1,230,761
１ 固定負債	1,102,129
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	797,147
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	300,000
（6）引当金	-
（7）リース債務	4,982
２ 流動負債	51,009
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,067
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	4,771
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	3,051
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	77,623
（1）長期前受金	209,259
（2）長期前受金収益化累計額（△）	131,636
資本合計	525,984
１ 資本金	1,662,730
２ 剰余金	-1,136,746
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-1,136,746
負債・資本合計	1,756,745
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	日南市
病院名	日南市立中部病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	7,377 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	88	71.5	68.8	68.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	71.5	68.8	68.4
平均在院日数（一般病床のみ）		20.3	17.2	17.7

設立団体の状況

人口 (人)		54,090
決算規模 (千円)		27,148,437
標準財政規模 (千円)		15,380,680
財政力指数		0.39
経常収支比率 (%)		95.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.3
	将来負担比率 (%)	87.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	80.6
修正医業収支金額 (千円)	1,030,552

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,325,307			
1 経常収益	1,325,306			
(1) 医業収益	1,072,471			
① 入院収益	703,992			
② 外来収益	244,501			
診療収入計	948,493			
③ その他医業収益	123,978			
(うち他会計負担金)	41,919			
(2) 医業外収益	252,835			
(うち国・都道府県補助金)	3,768			
(うち他会計補助・負担金)	212,081			
(うち長期前受金戻入)	32,004			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,335,525			
2 経常費用	1,334,798			
(1) 医業費用	1,278,453			
① 職員給与費	859,846	80.2	55.9	69.4
② 材料費	105,571	9.8	24.0	17.1
(うち薬品費)	35,953	3.4	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,598	4.8	11.1	5.8
③ 減価償却費	94,572	8.8	9.2	11.6
④ 経費	213,545	19.9	23.2	31.2
(うち委託料)	60,392	5.6	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	1,900			
⑥ 資産減耗費	3,019			
(2) 医業外費用	56,345			
(うち支払利息)	25,321	2.4	1.7	2.1
(3) 特別損失	727			
損益 経常損益	-9,492			
損益 純損益	-10,218			
累積欠損金	127,577			
経常収支比率	99.3		98.0	98.0
医業収支比率	83.9		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.2		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	19.2		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	80.3		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,080,280
1 固定資産	1,742,445
(1) 有形固定資産	1,729,682
(2) 無形固定資産	594
(3) 投資その他の資産	12,169
2 流動資産	337,835
(1) 現金及び預金	170,324
(2) 未収金及び未収収益	157,777
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	9,734
3 繰延資産	-
負債合計	1,641,032
1 固定負債	1,322,420
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,274,420
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	48,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	216,751
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,823
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,163
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47,466
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	101,861
(1) 長期前受金	981,038
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	879,177
資本合計	439,248
1 資本金	525,143
2 剰余金	-85,895
(1) 資本剰余金	5,600
(2) 利益剰余金	-91,495
負債・資本合計	2,080,280
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	254,000	254,000
資本勘定繰入	71,488	30,000
計	325,488	284,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	11.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	小林市
病院名	小林市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,077 ㎡	指定病院の状況	救臨感災地輪
診療科数	16	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	143	63.4	61.1	63.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	147	61.7	59.4	61.5
平均在院日数（一般病床のみ）		19.0	17.0	17.6

設立団体の状況

人口 (人)	46,221
決算規模 (千円)	30,515,176
標準財政規模 (千円)	14,302,392
財政力指数	0.38
経常収支比率 (%)	94.8
健全化判断比率 実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 連結実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 実質公債費比率 (%)	10.5
健全化判断比率 将来負担比率 (%)	108.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	80.0
修正医業収支金額 (千円)	1,854,938

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	314,959	314,959
資本勘定繰入	66,069	78,127
計	381,028	393,086

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	62.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,311,887			
1 経常収益	2,293,769			
(1) 医業収益	1,959,409			
① 入院収益	1,425,721			
② 外来収益	373,256			
診療収入計	1,798,977			
③ その他医業収益	160,432			
(うち他会計負担金)	104,471			
(2) 医業外収益	334,360			
(うち国・都道府県補助金)	8,390			
(うち他会計補助・負担金)	210,488			
(うち長期前受金戻入)	97,153			
(うち資本費繰入収益)	5,009			
(3) 特別利益	18,118			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,435,592			
2 経常費用	2,435,592			
(1) 医業費用	2,318,525			
① 職員給与費	1,440,653	73.5	55.9	59.8
② 材料費	416,448	21.3	24.0	17.7
(うち薬品費)	243,951	12.5	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	167,864	8.6	11.1	8.0
③ 減価償却費	162,005	8.3	9.2	10.4
④ 経費	290,225	14.8	23.2	31.2
(うち委託料)	165,985	8.5	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	6,921			
⑥ 資産減耗費	2,273			
(2) 医業外費用	117,067			
(うち支払利息)	57,675	2.9	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-141,823			
損益 純損益	-123,705			
累積欠損金	1,218,385			
経常収支比率	94.2		98.0	96.3
医業収支比率	84.5		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	81.2		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	4,626,434
1 固定資産	4,158,212
(1) 有形固定資産	4,151,583
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,629
2 流動資産	468,222
(1) 現金及び預金	92,411
(2) 未収金及び未収収益	359,782
(3) 貸倒引当金 (△)	8,383
(4) 貯蔵品	24,191
3 繰延資産	-
負債合計	5,081,534
1 固定負債	3,476,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,627,455
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	460,000
(6) 引当金	389,294
(7) リース債務	-
2 流動負債	404,125
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	120,206
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	74,644
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	169,491
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,200,660
(1) 長期前受金	2,293,973
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,093,313
資本合計	-455,100
1 資本金	643,584
2 剰余金	-1,098,684
(1) 資本剰余金	119,701
(2) 利益剰余金	-1,218,385
負債・資本合計	4,626,434
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	455,100
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	日向市
病院名	日向市立東郷病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	1,228 ㎡	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	否
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	30	-	-	15.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	-	-	15.1
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	14.3

設立団体の状況

人口 (人)		61,761
決算規模 (千円)		33,980,376
標準財政規模 (千円)		15,685,990
財政力指数		0.52
経常収支比率 (%)		93.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.4
	将来負担比率 (%)	82.2

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	30.7
修正医業収支金額 (千円)	101,748

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,981	175,788
資本勘定繰入	2,019	2,019
計	170,000	177,807

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	136.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	283,006			
1 経常収益	283,006			
(1) 医業収益	101,748			
① 入院収益	-			
② 外来収益	84,273			
診療収入計	84,273			
③ その他医業収益	17,475			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	181,258			
(うち国・都道府県補助金)	893			
(うち他会計補助・負担金)	175,788			
(うち長期前受金戻入)	1,180			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	331,957			
2 経常費用	331,957			
(1) 医業費用	331,957			
① 職員給与費	248,260	244.0	55.9	79.3
② 材料費	15,593	15.3	24.0	16.1
(うち薬品費)	5,517	5.4	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,076	9.9	11.1	5.0
③ 減価償却費	8,841	8.7	9.2	13.7
④ 経費	58,690	57.7	23.2	42.9
(うち委託料)	20,541	20.2	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	462			
⑥ 資産減耗費	111			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-48,951			
損益 純損益	-48,951			
累積欠損金	139,090			
経常収支比率	85.3		98.0	95.6
医業収支比率	30.7		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	62.1		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	172.8		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	62.1		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	32.3		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	236,166
1 固定資産	180,107
(1) 有形固定資産	179,764
(2) 無形固定資産	343
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	56,059
(1) 現金及び預金	8,499
(2) 未収金及び未収収益	13,965
(3) 貸倒引当金 (△)	200
(4) 貯蔵品	3,586
3 繰延資産	-
負債合計	47,447
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	41,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	13,829
(6) リース債務	135
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,778
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	6,131
(1) 長期前受金	10,743
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	4,612
資本合計	188,719
1 資本金	284,793
2 剰余金	-96,074
(1) 資本剰余金	33,016
(2) 利益剰余金	-129,090
負債・資本合計	236,166
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	串間市
病院名	市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	8,589 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	120	58.3	64.7	57.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	58.3	64.7	57.8
平均在院日数（一般病床のみ）		18.9	18.8	17.7

設立団体の状況

人口 (人)		18,779
決算規模 (千円)		12,114,437
標準財政規模 (千円)		6,723,765
財政力指数		0.27
経常収支比率 (%)		93.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.6
	将来負担比率 (%)	42.6

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	75.0
修正医業収支金額 (千円)	1,383,727

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,684	167,684
資本勘定繰入	67,316	67,316
計	235,000	235,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	178,943	12.7
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	93.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,644,122			
１ 経常収益	1,644,122			
（1）医業収益	1,425,112			
① 入院収益	844,106			
② 外来収益	480,436			
診療収入計	1,324,542			
③ その他医業収益	100,570			
（うち他会計負担金）	41,385			
（2）医業外収益	219,010			
（うち国・都道府県補助金）	12,691			
（うち他会計補助・負担金）	126,299			
（うち長期前受金戻入）	60,870			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,965,467			
２ 経常費用	1,948,449			
（1）医業費用	1,843,839			
① 職員給与費	881,529	61.9	55.9	59.8
② 材料費	215,583	15.1	24.0	17.7
（うち薬品費）	102,842	7.2	12.4	9.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	112,741	7.9	11.1	8.0
③ 減価償却費	166,861	11.7	9.2	10.4
④ 経費	567,403	39.8	23.2	31.2
（うち委託料）	324,031	22.7	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	10,441			
⑥ 資産減耗費	2,022			
（2）医業外費用	104,610			
（うち支払利息）	46,517	3.3	1.7	1.8
（3）特別損失	17,018			
損益 経常損益	-304,327			
損益 純損益	-321,345			
累積欠損金	1,326,261			
経常収支比率	84.4		98.0	96.3
医業収支比率	77.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	11.8		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	75.8		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,132,923
１ 固定資産	2,807,676
（1）有形固定資産	2,755,079
（2）無形固定資産	378
（3）投資その他の資産	52,219
２ 流動資産	325,247
（1）現金及び預金	87,838
（2）未収金及び未収収益	229,854
（3）貸倒引当金（△）	333
（4）貯蔵品	5,454
３ 繰延資産	-
負債合計	3,559,218
１ 固定負債	2,901,102
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,131,393
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	650,000
（6）引当金	96,921
（7）リース債務	22,788
２ 流動負債	363,950
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,447
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	52,396
（6）リース債務	9,669
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	105,106
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	294,166
（1）長期前受金	992,493
（2）長期前受金収益化累計額（△）	698,327
資本合計	-426,295
１ 資本金	543,019
２ 剰余金	-969,314
（1）資本剰余金	356,947
（2）利益剰余金	-1,326,261
負債・資本合計	3,132,923
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	426,295
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	132,129

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	えびの市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,569 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	5	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	50	63.9	68.4	70.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	63.9	68.4	70.3
平均在院日数（一般病床のみ）		26.7	31.3	29.4

設立団体の状況

人口 (人)		19,538
決算規模 (千円)		13,410,264
標準財政規模 (千円)		6,242,004
財政力指数		0.35
経常収支比率 (%)		92.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.6
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	68.9
修正医業収支金額 (千円)	573,214

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,125	240,125
資本勘定繰入	19,277	19,277
計	259,402	259,402

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	85.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	820,038			
１ 経常収益	820,038			
（１）医業収益	675,828			
① 入院収益	251,878			
② 外来収益	299,352			
診療収入計	551,230			
③ その他医業収益	124,598			
（うち他会計負担金）	102,614			
（２）医業外収益	144,210			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	137,511			
（うち長期前受金戻入）	4,065			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	861,297			
２ 経常費用	860,808			
（１）医業費用	831,782			
① 職員給与費	394,271	58.3	55.9	69.4
② 材料費	211,757	31.3	24.0	17.1
（うち薬品費）	188,646	27.9	12.4	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	21,306	3.2	11.1	5.8
③ 減価償却費	29,966	4.4	9.2	11.6
④ 経費	183,588	27.2	23.2	31.2
（うち委託料）	69,754	10.3	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	686			
⑥ 資産減耗費	11,514			
（２）医業外費用	29,026			
（うち支払利息）	731	0.1	1.7	2.1
（３）特別損失	489			
損益 経常損益	-40,770			
損益 純損益	-41,259			
累積欠損金	575,956			
経常収支比率	95.3		98.0	98.0
医業収支比率	81.3		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	29.3		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	35.5		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	29.3		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	67.4		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	823,862
１ 固定資産	425,030
（１）有形固定資産	424,502
（２）無形固定資産	504
（３）投資その他の資産	24
２ 流動資産	398,832
（１）現金及び預金	300,125
（２）未収金及び未収収益	84,461
（３）貸倒引当金（△）	156
（４）貯蔵品	13,402
３ 繰延資産	-
負債合計	373,121
１ 固定負債	276,003
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,289
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	260,714
（７）リース債務	-
２ 流動負債	64,614
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,740
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	28,169
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	31,519
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	32,504
（１）長期前受金	92,332
（２）長期前受金収益化累計額（△）	59,828
資本合計	450,741
１ 資本金	1,007,968
２ 剰余金	-557,227
（１）資本剰余金	3,153
（２）利益剰余金	-560,380
負債・資本合計	823,862
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	高原町
病院名	国保高原病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,051 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	56	80.4	76.0	73.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	80.4	76.0	73.8
平均在院日数（一般病床のみ）		29.4	30.1	28.7

設立団体の状況

人口 (人)		9,300
決算規模 (千円)		6,189,107
標準財政規模 (千円)		3,311,345
財政力指数		0.26
経常収支比率 (%)		92.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.1
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	71.8
修正医業収支金額 (千円)	671,082

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	148,798	248,798
資本勘定繰入	23,761	25,726
計	172,559	274,524

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	6,517	0.9
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	1.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	6,517
健全化法上の資金不足比率 (%)	0.9
地財法上の資金不足額 (千円)	6,517
地財法上の資金不足比率 (%)	0.9

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	963,135			
１ 経常収益	943,421			
（１）医業収益	709,073			
① 入院収益	345,003			
② 外来収益	242,319			
診療収入計	587,322			
③ その他医業収益	121,751			
（うち他会計負担金）	37,991			
（２）医業外収益	234,348			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	210,807			
（うち長期前受金戻入）	20,482			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	19,714			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	975,309			
２ 経常費用	975,309			
（１）医業費用	934,573			
① 職員給与費	400,362	56.5	55.9	69.4
② 材料費	86,954	12.3	24.0	17.1
（うち薬品費）	40,578	5.7	12.4	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	44,508	6.3	11.1	5.8
③ 減価償却費	63,351	8.9	9.2	11.6
④ 経費	379,327	53.5	23.2	31.2
（うち委託料）	95,686	13.5	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	3,488			
⑥ 資産減耗費	1,091			
（２）医業外費用	40,736			
（うち支払利息）	22,884	3.2	1.7	2.1
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-31,888			
損益 純損益	-12,174			
累積欠損金	12,174			
経常収支比率	96.7		98.0	98.0
医業収支比率	75.9		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	26.4		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	35.1		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	25.8		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	71.2		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,401,177
１ 固定資産	1,268,122
（１）有形固定資産	1,267,862
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	260
２ 流動資産	133,055
（１）現金及び預金	32,100
（２）未収金及び未収収益	97,262
（３）貸倒引当金（△）	5,394
（４）貯蔵品	9,087
３ 繰延資産	-
負債合計	1,298,168
１ 固定負債	1,048,289
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	936,240
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	112,049
（７）リース債務	-
２ 流動負債	190,351
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,779
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	32,401
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	70,000
（８）未払金及び未払費用	37,171
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	59,528
（１）長期前受金	317,126
（２）長期前受金収益化累計額（△）	257,598
資本合計	103,009
１ 資本金	32,012
２ 剰余金	70,997
（１）資本剰余金	32,994
（２）利益剰余金	38,003
負債・資本合計	1,401,177
不良債務	6,517
実質資金不足額	6,517
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	都農町
病院名	都農町国民健康保険病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,395 ㎡	指定病院の状況	救　感
診療科数	10	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	61	55.1	55.4	47.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	65	51.7	51.9	44.1
平均在院日数（一般病床のみ）		19.6	23.0	21.1

設立団体の状況

人口 (人)		10,391
決算規模 (千円)		20,349,325
標準財政規模 (千円)		3,411,328
財政力指数		0.30
経常収支比率 (%)		92.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.5
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	78.7
修正医業収支金額 (千円)	687,831

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	172,959	172,959
資本勘定繰入	42,541	42,541
計	215,500	215,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	45.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	882,586			
1 経常収益	881,888			
(1) 医業収益	725,677			
① 入院収益	272,238			
② 外来収益	347,429			
診療収入計	619,667			
③ その他医業収益	106,010			
(うち他会計負担金)	37,846			
(2) 医業外収益	156,211			
(うち国・都道府県補助金)	4,859			
(うち他会計補助・負担金)	135,113			
(うち長期前受金戻入)	12,059			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	698			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,037,216			
2 経常費用	1,037,210			
(1) 医業費用	873,979			
① 職員給与費	418,060	57.6	55.9	69.4
② 材料費	216,712	29.9	24.0	17.1
(うち薬品費)	162,635	22.4	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,155	6.1	11.1	5.8
③ 減価償却費	24,123	3.3	9.2	11.6
④ 経費	214,061	29.5	23.2	31.2
(うち委託料)	69,569	9.6	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	943			
⑥ 資産減耗費	80			
(2) 医業外費用	163,231			
(うち支払利息)	4,543	0.6	1.7	2.1
(3) 特別損失	6			
損益 経常損益	-155,322			
損益 純損益	-154,630			
累積欠損金	328,899			
経常収支比率	85.0		98.0	98.0
医業収支比率	83.0		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	19.6		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	23.8		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	19.6		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	68.3		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	2,526,575
1 固定資産	2,316,224
(1) 有形固定資産	2,316,224
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	210,351
(1) 現金及び預金	81,875
(2) 未収金及び未収収益	120,310
(3) 貸倒引当金 (△)	2,771
(4) 貯蔵品	10,936
3 繰延資産	-
負債合計	2,438,545
1 固定負債	2,012,527
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,802,310
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	210,217
(7) リース債務	-
2 流動負債	165,266
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	40,035
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,959
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	94,272
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	260,752
(1) 長期前受金	680,236
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	419,484
資本合計	88,030
1 資本金	376,460
2 剰余金	-288,430
(1) 資本剰余金	40,469
(2) 利益剰余金	-328,899
負債・資本合計	2,526,575
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	椎葉村
病院名	椎葉村国民健康保険病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,173 ㎡	指定病院の状況	救 臨　へ
診療科数	3	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	30	59.2	49.7	52.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	59.2	49.7	52.1
平均在院日数（一般病床のみ）		19.0	16.0	15.0

設立団体の状況

人口 (人)		2,808
決算規模 (千円)		5,213,475
標準財政規模 (千円)		2,868,607
財政力指数		0.15
経常収支比率 (%)		83.5
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.0
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	73.8
修正医業収支金額 (千円)	359,706

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	164,269	132,000
資本勘定繰入	19,547	19,547
計	183,816	151,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	69.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	511,558			
1 経常収益	511,558			
(1) 医業収益	396,000			
① 入院収益	160,947			
② 外来収益	176,380			
診療収入計	337,327			
③ その他医業収益	58,673			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	115,558			
(うち国・都道府県補助金)	1,250			
(うち他会計補助・負担金)	95,706			
(うち長期前受金戻入)	16,874			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	509,933			
2 経常費用	509,933			
(1) 医業費用	487,182			
① 職員給与費	290,344	73.3	55.9	79.3
② 材料費	100,851	25.5	24.0	16.1
(うち薬品費)	91,956	23.2	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,813	1.5	11.1	5.0
③ 減価償却費	37,929	9.6	9.2	13.7
④ 経費	56,358	14.2	23.2	42.9
(うち委託料)	28,957	7.3	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	1,188			
⑥ 資産減耗費	512			
(2) 医業外費用	22,751			
(うち支払利息)	9,782	2.5	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	1,625			
損益 純損益	1,625			
累積欠損金	275,439			
経常収支比率	100.3		98.0	95.6
医業収支比率	81.3		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	25.8		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	33.3		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	25.8		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	74.4		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,115,172
1 固定資産	572,582
(1) 有形固定資産	572,582
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	542,590
(1) 現金及び預金	473,310
(2) 未収金及び未収収益	68,214
(3) 貸倒引当金 (△)	215
(4) 貯蔵品	1,281
3 繰延資産	-
負債合計	341,873
1 固定負債	169,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	169,073
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	58,705
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,026
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,494
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	14,760
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	114,095
(1) 長期前受金	198,187
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	84,092
資本合計	773,299
1 資本金	1,022,109
2 剰余金	-248,810
(1) 資本剰余金	26,629
(2) 利益剰余金	-275,439
負債・資本合計	1,115,172
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	美郷町
病院名	西郷病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	2,783 ㎡	指定病院の状況	救　へ
診療科数	4	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	29	73.7	64.9	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	73.7	64.9	80.9
平均在院日数（一般病床のみ）		19.8	18.0	22.5

設立団体の状況		
人口 (人)		5,480
決算規模 (千円)		8,352,904
標準財政規模 (千円)		4,790,940
財政力指数		0.14
経常収支比率 (%)		90.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.5
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	67.7
修正医業収支金額 (千円)	378,545

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	170,000	170,000
資本勘定繰入	22,396	20,181
計	192,396	190,181

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	2.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	560,884			
1 経常収益	560,884			
(1) 医業収益	414,839			
① 入院収益	180,165			
② 外来収益	176,313			
診療収入計	356,478			
③ その他医業収益	58,361			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	146,045			
(うち国・都道府県補助金)	2,994			
(うち他会計補助・負担金)	133,706			
(うち長期前受金戻入)	7,358			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	574,154			
2 経常費用	574,154			
(1) 医業費用	558,871			
① 職員給与費	288,840	69.6	55.9	79.3
② 材料費	80,882	19.5	24.0	16.1
(うち薬品費)	55,649	13.4	12.4	10.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,571	4.7	11.1	5.0
③ 減価償却費	49,331	11.9	9.2	13.7
④ 経費	138,155	33.3	23.2	42.9
(うち委託料)	23,194	5.6	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	1,103			
⑥ 資産減耗費	560			
(2) 医業外費用	15,283			
(うち支払利息)	5,868	1.4	1.7	1.5
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-13,270			
損益 純損益	-13,270			
累積欠損金	9,806			
経常収支比率	97.7		98.0	95.6
医業収支比率	74.2		88.4	65.3
他会計繰入金対経常収益比率	30.3		12.4	33.4
他会計繰入金対医業収益比率	41.0		14.5	52.3
他会計繰入金対総収益比率	30.3		12.4	33.6
実質収益対経常費用比率	68.1		85.9	63.7

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,046,309
1 固定資産	488,472
(1) 有形固定資産	487,887
(2) 無形固定資産	224
(3) 投資その他の資産	361
2 流動資産	557,837
(1) 現金及び預金	487,440
(2) 未収金及び未収収益	67,060
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	3,337
3 繰延資産	-
負債合計	488,983
1 固定負債	306,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	306,542
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	86,563
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,979
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	16,981
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	27,994
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	95,878
(1) 長期前受金	204,108
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	108,230
資本合計	557,326
1 資本金	558,632
2 剰余金	-1,306
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,306
負債・資本合計	1,046,309
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	高千穂町
病院名	国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	8,351 ㎡	指定病院の状況	救臨
診療科数	9	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	60	86.9	87.8	92.4
療養	60	64.0	71.8	78.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	75.4	79.8	85.5
平均在院日数（一般病床のみ）		21.0	21.0	17.6

設立団体の状況		
人口 (人)		12,755
決算規模 (千円)		8,432,493
標準財政規模 (千円)		4,664,490
財政力指数		0.24
経常収支比率 (%)		91.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.0
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	89.4
修正医業収支金額 (千円)	1,795,303

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,013,441			
1 経常収益	2,013,441			
(1) 医業収益	1,846,173			
① 入院収益	898,031			
② 外来収益	839,485			
診療収入計	1,737,516			
③ その他医業収益	108,657			
(うち他会計負担金)	50,870			
(2) 医業外収益	167,268			
(うち国・都道府県補助金)	1,640			
(うち他会計補助・負担金)	118,130			
(うち長期前受金戻入)	18,259			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,152,083			
2 経常費用	2,137,183			
(1) 医業費用	2,009,023			
① 職員給与費	936,213	50.7	55.9	59.8
② 材料費	291,255	15.8	24.0	17.7
(うち薬品費)	135,296	7.3	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	155,924	8.4	11.1	8.0
③ 減価償却費	136,151	7.4	9.2	10.4
④ 経費	641,082	34.7	23.2	31.2
(うち委託料)	195,612	10.6	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	3,869			
⑥ 資産減耗費	453			
(2) 医業外費用	128,160			
(うち支払利息)	39,181	2.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	14,900			
損益 経常損益	-123,742			
損益 純損益	-138,642			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.2		98.0	96.3
医業収支比率	91.9		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	86.3		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,203,595
1 固定資産	3,392,109
(1) 有形固定資産	3,330,400
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	61,331
2 流動資産	811,486
(1) 現金及び預金	482,927
(2) 未収金及び未収収益	306,035
(3) 貸倒引当金 (△)	798
(4) 貯蔵品	23,322
3 繰延資産	-
負債合計	2,188,869
1 固定負債	1,577,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,554,285
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	22,757
2 流動負債	315,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	150,401
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,524
(6) リース債務	8,727
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	88,478
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	296,396
(1) 長期前受金	848,437
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	552,041
資本合計	2,014,726
1 資本金	606,818
2 剰余金	1,407,908
(1) 資本剰余金	283,291
(2) 利益剰余金	1,124,617
負債・資本合計	4,203,595
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,813	169,000
資本勘定繰入	187,736	81,000
計	390,549	250,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	日之影町
病院名	国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,378 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	50	47.1	46.1	46.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	47.1	46.1	46.4
平均在院日数（一般病床のみ）		23.6	21.8	22.2

設立団体の状況

人口 (人)		3,946
決算規模 (千円)		4,733,594
標準財政規模 (千円)		2,902,823
財政力指数		0.15
経常収支比率 (%)		87.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.3
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	69.3
修正医業収支金額 (千円)	411,438

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	201,645	201,645
資本勘定繰入	32,409	12,561
計	234,054	214,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	620,989			
1 経常収益	620,875			
(1) 医業収益	443,895			
① 入院収益	167,145			
② 外来収益	217,772			
診療収入計	384,917			
③ その他医業収益	58,978			
(うち他会計負担金)	32,457			
(2) 医業外収益	176,980			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	169,188			
(うち長期前受金戻入)	5,121			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	114			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	619,887			
2 経常費用	618,837			
(1) 医業費用	593,431			
① 職員給与費	317,729	71.6	55.9	69.4
② 材料費	116,337	26.2	24.0	17.1
(うち薬品費)	104,657	23.6	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,680	2.6	11.1	5.8
③ 減価償却費	50,179	11.3	9.2	11.6
④ 経費	107,655	24.3	23.2	31.2
(うち委託料)	61,542	13.9	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	521			
⑥ 資産減耗費	1,010			
(2) 医業外費用	25,406			
(うち支払利息)	5,653	1.3	1.7	2.1
(3) 特別損失	1,050			
損益 経常損益	2,038			
損益 純損益	1,102			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		98.0	98.0
医業収支比率	74.8		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	32.5		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	45.4		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	32.5		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	67.7		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,118,440
1 固定資産	778,714
(1) 有形固定資産	755,358
(2) 無形固定資産	111
(3) 投資その他の資産	23,245
2 流動資産	339,726
(1) 現金及び預金	226,537
(2) 未収金及び未収収益	112,110
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	1,079
3 繰延資産	-
負債合計	513,954
1 固定負債	391,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	387,940
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,934
2 流動負債	77,548
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,161
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,369
(6) リース債務	2,664
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,128
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	44,532
(1) 長期前受金	117,335
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	72,803
資本合計	604,486
1 資本金	521,580
2 剰余金	82,906
(1) 資本剰余金	2,144
(2) 利益剰余金	80,762
負債・資本合計	1,118,440
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	宮崎県
市町村・組合名	五ケ瀬町
病院名	国保病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,771 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	7	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	36	60.9	69.9	67.6
療養	18	71.2	89.3	86.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	64.3	76.4	74.0
平均在院日数（一般病床のみ）		18.1	17.9	17.7

設立団体の状況

人口 (人)		3,887
決算規模 (千円)		4,090,912
標準財政規模 (千円)		2,335,460
財政力指数		0.13
経常収支比率 (%)		87.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.1
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	72.7
修正医業収支金額 (千円)	391,126

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	147,000	147,000
資本勘定繰入	3,000	3,000
計	150,000	150,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	544,216			
１ 経常収益	544,216			
（1）医業収益	428,626			
① 入院収益	235,665			
② 外来収益	134,684			
診療収入計	370,349			
③ その他医業収益	58,277			
（うち他会計負担金）	37,500			
（2）医業外収益	115,590			
（うち国・都道府県補助金）	1,257			
（うち他会計補助・負担金）	109,500			
（うち長期前受金戻入）	3,141			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	556,936			
２ 経常費用	556,741			
（1）医業費用	537,923			
① 職員給与費	262,122	61.2	55.9	69.4
② 材料費	37,711	8.8	24.0	17.1
（うち薬品費）	21,930	5.1	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,781	3.7	11.1	5.8
③ 減価償却費	24,739	5.8	9.2	11.6
④ 経費	212,648	49.6	23.2	31.2
（うち委託料）	54,274	12.7	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	489			
⑥ 資産減耗費	214			
（2）医業外費用	18,818			
（うち支払利息）	8,235	1.9	1.7	2.1
（3）特別損失	195			
損益 経常損益	-12,525			
損益 純損益	-12,720			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.8		98.0	98.0
医業収支比率	79.7		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	27.0		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.3		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	27.0		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	71.3		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,246,236
１ 固定資産	698,707
（1）有形固定資産	697,836
（2）無形固定資産	871
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	547,529
（1）現金及び預金	466,237
（2）未収金及び未収収益	73,778
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	7,513
３ 繰延資産	-
負債合計	642,399
１ 固定負債	496,352
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	496,352
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	90,826
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,409
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	19,582
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	20,835
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	55,221
（1）長期前受金	104,309
（2）長期前受金収益化累計額（△）	49,088
資本合計	603,837
１ 資本金	248,796
２ 剰余金	355,041
（1）資本剰余金	344,872
（2）利益剰余金	10,169
負債・資本合計	1,246,236
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。